

## ふくい桜マラソン2024

### 【出場結果】

実施日 : 3月31日(日)

コース : (日本陸上競技連盟公認・ワールドアスレティクス/AIMS 認証コース)  
福井駅前・大名町交差点⇒さくら通り⇒松本通り⇒新九頭竜橋⇒フェニックス通り⇒丸岡城⇒森田駅付近⇒九頭竜川堤防⇒高屋橋⇒明治橋⇒日光橋⇒狐川堤防⇒9.98 スタジアム⇒明里橋通り(足羽山)⇒足羽川堤防⇒片町入口交差点付近

出場者 : 坪井 響己

リザルト:

	坪 井
タイム	2 : 20'29"
順位	4位/11,433名(完走者)

### 【レポート】

2月に行われた全日本実業団ハーフマラソンでは、1時間3分20秒のセカンドベスト、青梅マラソン30kmの部では、1時間35分41秒で3位入賞するなど、立て続けに結果を残してきた坪井が、自身6回目のマラソンとして、ふくい桜マラソンに出場しました。

2週間前に北陸新幹線が金沢～敦賀間延伸となり、都心からも移動がスムーズとなったことで、何かと話題性のある福井県ですが、これまで全都道府県の中で唯一フルマラソンの大会がなく、ふくい桜マラソンの大会コンセプトは「全都道府県で一番最後だけが一番新しい、新世代のフルマラソン」として、美しい桜、新幹線との共走、恐竜をイメージしたコースで、福井の魅力を発信することを掲げた大会として、1万人を超えるランナーが大会に華を添えました。

坪井が出場した「サブ10チャレンジ部門」では、35kmまでペースメーカーが2時間10分切りのペースを刻む設定となっており、坪井の自己記録(2時間19分49秒)から比較すると、かなり速い設定タイムでしたが、ここまで築き上げた力を試す意味でもペースメーカーに着いていく覚悟を決めてレースに臨みました。



20キロ地点ではペースメーカー3名に坪井ともう1名が食らいつく

当日の天候は 20 度近くまで気温が上がる予報でしたが、若干の風はあるものの、曇り気味のコンディションとなり、気温も 15 度ほどで記録を狙う上でもまずまずの気象条件でした。

レースは 3 名のペースメーカーが、1 km 3 分 5 秒程のラップを確実に刻み、20km 地点では、早くもペースメーカーにつく選手は、K A O の物江選手と坪井の 2 名に絞られました。

この時点では坪井の表情にも余裕が感じられ、好記録の予感が漂いました。



30 キロ地点、苦しい表情でペースメーカーに必死に食らいつく坪井

ハーフマラソンを 1 時間 5 分 41 秒で余裕を持って通過しましたが、25 km 過ぎに表情が厳しくなると、先頭からは少し離れ始めたものの、何とか堪えて 30 km を 1 時間 34 分 11 秒の自己記録で通過、この時点では 2 時間 14 分程度のフィニッシュタイムが見込まれ、好記録を思い描きながらゴールを目指しました。



35 km 過ぎから大幅にペースダウンとなったが、必死な走りを見せる坪井

マラソンで一番きつい 35 km 手前から大幅にペースを落とした坪井は、動かなくなった身体を懸命に前に進めようとしませんが、40 km 手前で順位を 1 つ落とし、更にラスト 100m で後ろから猛追してきた選手との争いでは渾身の力でスパートを見せたものの、胸の差で 3 位入賞を逃す 4 位 2 時間 20 分 29 秒でのゴールとなりました。



目標の 3 位以内を逃し悔しさを味わった坪井。この経験を次のマラソンの糧に！！

## 【総評】

今回のマラソンは、自身 5 回目までのマラソンとは違い「サブ 10 チャレンジ」に挑み、実力以上のペースを刻んだ上で、自己記録更新を目標としてレースに臨みましたが、結果として 30km までは自身の思い描く走りは出来たものの、35 km 以降の落ち込みは想像以上のダメージがあり、3 位入賞を逃す非常に悔しい結果となりました。

悔しさの反面、ハイペースに果敢に挑んだことは、非常に大きなレース経験であり、この経験が坪井の競技人生を更なる高みへ導いてくれるものと確信します。

次年度以降も、彼の陸上競技に対するストイックな取り組みをリスペクトし、トラックレースからフルマラソンまで多くの種目で自己記録更新を達成してくれることを楽しみにしたいと思います。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以上